

## YOSHIKI 米国公衆衛生局長官と対談

対談テーマは SNS での誹謗中傷や自身の父親の自殺について「メンタルヘルスの支援」人間の愛の重要性を語り、「Forever Love」のピアノ演奏も

8月7日(水)、YOSHIKI が米国公衆衛生局長官である Dr. Vivek Murthy との対談を行った。対談テーマは、「社会的つながりの促進とメンタルヘルスの支援」。

Dr. Murthy は、第 21 代米国公衆衛生局長官 (Surgeon General) を務める米国のトップドクター。「孤独感と孤立感に起因するメンタルヘルスの支援」を最優先課題として、様々な公衆衛生問題に取り組んでいる。近年では、SNS の影響もあり、若者が疎外感や孤独感を感じる状態が増え、世界的な社会問題となっていることにも警鐘を鳴らしている。

一方で、YOSHIKI も、2021 年には音楽関係者のメンタルケア支援に 10 万ドルの寄付を実施するなどの活動を行ってきた。今回は、YOSHIKI が事前に受けた対談の特別オファーを快諾し、Dr. Murthy が初来日して実施されることとなった。

対談では、メンタルヘルスに対して両名が長年向き合っている理由を皮切りに、心の痛みを共有することの重要性や、若者が現在抱えている問題についての意見交換など、様々な話題が展開された。救いの手を必要としている子どもたちの支援を目的とした基金を立ち上げている YOSHIKI は、父親が自ら命を絶ってしまったことなど、自身の子ども時代にも触れながら「他人を助けることが、自分自身の助けにもなる。そう思って支援活動を続けています。また、支援や寄付を行った際には、しっかりと公言することも大切にしています。そうすることで、自分のファンをはじめとして、より多くの人に、助けを必要としている人がいることを知ってもらえて、支援の輪が広がるきっかけになるんです」と語った。

他にも、ソーシャルメディアや AI などのテクノロジーとの上手な付き合い方については、YOSHIKI も先日発表した革新的ファンコミュニティ「YOSHIKI+」での AI 開発について言及するなど、日頃から注視している部分であり、活発な議論が展開された。YOSHIKI は、「若いファンの方から、SNS やファンレターを通じて、大変な経験をしているというメッセージが来ることもあります。時には、僕自身もソーシャルメディアによって心がズタズタになってしまうこともあり、思わず共感してしまう時があります」と語った。

Dr. Murthy は、現在の若者の状況を「若い子はネガティブニュースにおぼれていて、未来に希望はないと思うようになってしまっています。アメリカでも若者の自殺率は急増していて、孤立感やネガティブなニュースも大きく影響しているとされています。これからは、テクノロジーに触れない時間を増やし、直接人と顔を合わせて関わることの大事さを改めて理解しないとはいけません。1日15分だけでも自分にとって大事と感じる人と話す、そういう機会を作っていくべきだと私は考えています」と説明した。

それに合わせ、YOSHIKI もソーシャルメディアに関する自身の経験からの考えを明かした。「僕も SNS で誹謗中傷を受け、ひどく傷ついたことがあります。全体からすれば、誹謗中傷は数%だと思いますが、それを無視することはできません。そこが、まさにソーシャルメディアの闇の面で、数は少なくともそちらの部分を見てしまうと、自分が闇に支配されるような感覚になります。ただ、SNS には明るい部分もあることも実感しています。以前母を亡くした時に、SNS 上で何百万ものメッセージをもらいました。驚きも大きかったですが、愛に溢れていて、それが支えになってくれたことは忘れられません。」

さらに、対談の終盤には、人間関係や愛の話へ。

「自分は末期の患者さんを担当したことがあります。人生の終わりが近い人ほど、お金やモノの話ではなく、人間関係の話をします。人生で最も大事なことは愛なのです。」と Dr. Murthy が話すと、YOSHIKI は永遠の愛をテーマにした楽曲「Forever Love」のピアノ演奏を披露。Dr. Murthy は「メロディから真の愛を感じました。電話で大丈夫かと声をかけるのと、美しい音楽を作ることは同じヒーリング効果があると思っています。まさに YOSHIKI さんは“ヒーラー”です」と、感極まった様子で、YOSHIKI へ賛辞を贈った。

最後に Dr. Murthy より YOSHIKI へ「“希望”について話したい。YOSHIKI に希望を与えるものは？」と質問が飛んだ。それに対し YOSHIKI は、「とにかくあらゆる瞬間に感謝しています。今この世界に生きているというだけで、すでに恵まれている。何度も言いますが、愛こそが大事だなと感じています。AI の話題が多い中でも、人間の凄さ、愛の凄さを証明していきたい。義務ではないですが、自分の行動がなんらかの影響を与えることができるのなら、可能な限り力を使おうと思います。世界がより良い場所になればと。」と答え、「不可能はない、なんだって可能だと思う。それこそが僕の座右の銘で、その姿勢が人を助けることにつながるとしています」と対談を締め括った。

#### ■米国公衆衛生局長官 Dr. Vivek H. Murthy プロフィール

2021年3月に米国上院によって承認された、第21代米国公衆衛生局長官(Surgeon General)。米国のトップドクターとして、すべてのアメリカ人の健康と福祉を促進し、重要な公衆衛生問題に取り組み、「青年のメンタルヘルス危機」、「ソーシャルメディアが青年のメンタルヘルスに与える影響」、「孤独と孤立の流行」、そして「医療従事者コミュニティの燃え尽き症候群」についてのアドバイザー(勧告)を発行。また、職場におけるメンタルヘルスに関するフレームワークを発行し、ゲストやリスナーとともに、よりつながりのある意味のある生活を築く方法を探るポッドキャスト(「House Calls with Dr. Vivek Murthy」)をホストする初のアメリカ合衆国公衆衛生局長官でもある。米国公衆衛生サービス委員会の副提督として、Murthy 医師は 6,000 人以上の献身的な公衆衛生職員を監督し、恵まれない人々や脆弱な人々にサービスを提供。Murthy 医師は、マイアミで育ち、Harvard で学士号を取得し、Yale School of Medicine で医学博士号を取得し、Yale School of Management で経営学修士号を取得し、オバマ大統領の下で第19代米国公衆衛生局長官を務めた。

報道関係者各位

2024年8月8日  
YOSHIKI PR 事務局

Vice Admiral (VADM) Vivek H. Murthy, M.D., M.B.A.

<https://web.archive.org/web/20170420151456/http://www.surgeongeneral.gov/about/biographies/biosg.html>

<YOSHIKI 関連リンク>

YOSHIKI Official Site : <https://jp.yoshiki.net/>

YOSHIKI Official Instagram: <https://www.instagram.com/yoshikiofficial/>

YOSHIKI YouTube Channel : <https://www.youtube.com/yoshikiofficial>